としょかんだより

令和四年９月号

久我山小学校学校司書 山中仁美

長い夏休みが終わり２学期が始まりました。 日焼けした元気な笑顔から、楽しかった時間が伝わってきます。
夏休みの間、図書室にも工事が入り、少しだけ様子が変わりました。
後ろの扉はタンポポ教室の入口となりました。 図書室の出入りには使えません。 気をつけてください。
夏休み中の読書は進みましたか？ 図書室に新しい本がたくさん入りました。（7月70冊、9月80冊）
二学期の「読書の目標」を立てて、本からの栄養を心と頭にたっぷりと取り込みましょう！

読む本に迷ったら…

「次はどの本を読もうかなぁ？」と迷ったら
〝主人公が自分と同じ学年の本〟を選んでみても！

＊1 ねんせい 「あひるの手紙」 朽木祥（くつき しょう）；作

１ねんせいの きょうしつに、ふしぎな てがみが とどきました。 げんきいっぱいに「あひる」とだけ かいてあります。
だれからの てがみなのでしょう？ どんな おへんじを かけば いいのでしょう？

＊2年生 「パパはステキな男のおばさん」 石井睦美；文

まりのいえは ママが かいしゃで はたらいて、パパがいえにいます。 りょうりや せんたくも パパがします。
それを 友だちに わらわれて、どちらが いえに いるほうが いいのか まよいはじめますが・・・。

＊3年生 「3年2組は牛を飼います」 木村セツ子；作

いたずらっ子ナオトが言い出してクラスで牛をかうことになり、動物が苦手なまゆは落ちこみます。最初はみんな大賛成でヤル気まんまんだったのに、お世話の大変さが分かってきて……「命を育てる」責任を果たせるのか？

＊4年生 「点子ちゃん」 野田道子；作

色白でようせいのようにかわいい 目の見えないの女の子がアメリカから転校してきた。いつも点字の本をよんでいる「点子」ちゃんをめぐってクラスは大さわぎに！ 本当のやさしさや勇気って、なに？

＊5年生 「小学五年生」 重松清；著

まだ「おとな」ではないけれど、もう「こども」ではない。大切な人を亡くしたり、親の離婚や転校で行き場のない寂しさや孤独を感じるようになった18人の少年が、現実を受け止め、自分で考えながら成長していくショートストーリー。

＊6年生 「君たちは今が世界」 朝比奈あすか；著

調理実習中に起きた洗剤混入事件。犯人が名乗り出ない中、担任がクラスを見回して「皆さんは、たいした大人にはなれない」と告げて去っていく。その残酷な言葉は、子どもの世界に終わりと始まりを連れてきた。

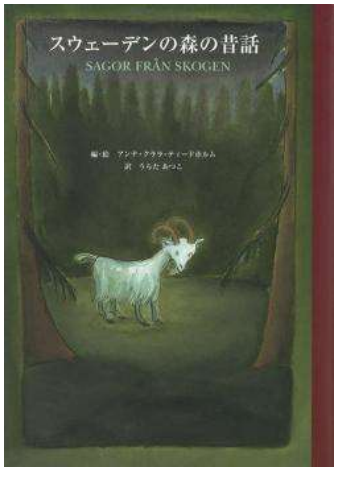
給食コラボ

☆新学期最初の給食は８月の給食コラボ**「カレーライスおかわり」**より**【おばあちゃんのスペシャルとろーりカレー】**

みんなで稲刈りの日、きつねくんのおばあちゃんとなっちゃんは公民館でカレーを作ります。
野菜や果物やきのこ・・・いろいろなカレーを作りました。 どんなカレーが一番人気だったでしょうか。
思わずカレーライスが食べたくなる、カレー満載の本です。
みなさんは給食のカレー、おかわりしましたか？

☆９月10日は十五夜ですね。 今年は満月が楽しめるといいですね。
お月見は平安時代から貴族の間で盛んになり、江戸時代に入ると庶民も広く楽しむようになったそうです。
お月見といえばススキと月見団子。 9月の給食コラボは**「ブンダバーとモモ」**より**【黒ゴマ団子】**です。
おしゃべりできるネコ、ブンダバーの親友モモは女優になりたい女の子。
ところがモモに好きな男の子ができてしまい、さあ大変！
お月見にはお団子を 15個お供えしますが、給食では何個食べられるかな？

挑戦してね！ まちがいさがし

北欧の国スウェーデンは国の半分が森です。森は人々の暮らしに深く関わっていました。森は人々に恵みを与えてくれると同時に恐ろしい場所でもありました。人々は夜になるとそんな森の話を語り、それが昔話となって伝えられています。漢字にはふりがながあるので 1年生から読めます。高学年生が読むと違ったとらえ方ができます。12 のお話それぞれにピッタリな挿絵が、お話の世界を広げてくれます。

外国の昔話コーナーにあるよ。
まだまだ暑い日が続きます。
日常を忘れてスウェーデンのしずかな森の中にいる気分を味わってください